

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 エスピー食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池村 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ 財務管理室長 (氏名) 山崎 崇弘 TEL 03-3668-0551
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	30,616	2.1	2,261	23.1	2,469	17.8	1,792	15.5
2022年3月期第1四半期	29,979	2.7	2,941	17.4	3,002	16.3	2,122	16.4

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 1,819百万円 (12.7%) 2022年3月期第1四半期 2,084百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	144.97	
2022年3月期第1四半期	167.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	140,127	61,406	43.8
2022年3月期	128,984	59,903	46.4

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 61,406百万円 2022年3月期 59,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		25.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		27.00		27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,500	2.7	3,950	21.5	3,950	21.5	2,850	20.1	230.43
通期	120,500	2.1	7,000	18.8	7,000	19.6	5,000	19.7	404.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,622,234 株	2022年3月期	13,622,234 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,254,135 株	2022年3月期	1,254,135 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	12,368,099 株	2022年3月期1Q	12,700,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、徐々に、経済活動の平常化の動きが見られる一方、ウクライナ情勢長期化の影響等による原材料価格の高騰や供給面での制約などから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、外食需要の持ち直しの動きといった消費行動や市場構造の変化が見られるほか、原材料・エネルギー価格の高騰や外国為替市場での円安進行の長期化による先行きへの不安等からお客様の節約志向が高まるなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、2020年4月より開始いたしました第2次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス&ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、社会環境の変化やお客様のニーズの多様化への対応に全社一体となって取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症に対しては、徹底した対策を継続し従業員の安全確保と製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、外食需要の持ち直しの動きが見られたことなどから、食料品事業において、即席グループや、インスタント食品その他グループが伸長し、前年同期比6億36百万円増の306億16百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面では、原材料価格等の高騰により売上原価率が上昇いたしましたことから、営業利益は前年同期比6億79百万円減の22億61百万円（同23.1%減）、経常利益は前年同期比5億32百万円減の24億69百万円（同17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億29百万円減の17億92百万円（同15.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比5億70百万円増の270億74百万円（同2.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比6億82百万円減の19億90百万円（同25.5%減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比65百万円増の35億42百万円（同1.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比3百万円増の2億60百万円（同1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して111億42百万円増加し、1,401億27百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加52億62百万円、棚卸資産の増加27億50百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して96億39百万円増加し、787億20百万円となりました。これは主に、借入金の増加47億33百万円、前連結会計年度まで非連結子会社であった子会社を新たに連結の範囲に含めたことを主な要因とした、仕入債務の増加45億44百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して15億3百万円増加し、614億6百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、2022年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,245	30,507
受取手形、売掛金及び契約資産	27,567	29,062
商品及び製品	9,218	10,307
仕掛品	2,557	2,791
原材料及び貯蔵品	7,978	9,405
その他	699	2,737
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	73,265	84,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,785	18,888
機械装置及び運搬具(純額)	10,749	10,937
土地	8,623	8,762
その他(純額)	3,009	2,595
有形固定資産合計	40,168	41,184
無形固定資産	725	680
投資その他の資産		
投資有価証券	9,436	9,258
退職給付に係る資産	9	22
その他	6,470	4,191
貸倒引当金	△1,090	△20
投資その他の資産合計	14,825	13,450
固定資産合計	55,719	55,315
資産合計	128,984	140,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,859	17,403
短期借入金	18,434	25,537
未払金	10,728	9,177
未払法人税等	1,097	768
賞与引当金	1,425	730
その他	1,982	4,812
流動負債合計	46,527	58,430
固定負債		
長期借入金	14,647	12,276
退職給付に係る負債	6,184	6,219
資産除去債務	122	123
その他	1,599	1,670
固定負債合計	22,554	20,289
負債合計	69,081	78,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,336	5,336
利益剰余金	52,140	53,617
自己株式	△2,933	△2,933
株主資本合計	56,288	57,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	2,901
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	103	228
退職給付に係る調整累計額	△373	△351
その他の包括利益累計額合計	3,614	3,640
純資産合計	59,903	61,406
負債純資産合計	128,984	140,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	29,979	30,616
売上原価	21,342	22,524
売上総利益	8,637	8,092
販売費及び一般管理費	5,695	5,830
営業利益	2,941	2,261
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	106	129
不動産賃貸料	10	11
為替差益	—	131
その他	63	51
営業外収益合計	184	324
営業外費用		
支払利息	119	115
為替差損	3	—
その他	—	0
営業外費用合計	123	116
経常利益	3,002	2,469
特別利益		
補助金収入	30	30
受取精算金	—	8
その他	1	—
特別利益合計	31	38
特別損失		
固定資産売却損	55	—
固定資産除却損	11	19
その他	15	5
特別損失合計	81	24
税金等調整前四半期純利益	2,952	2,483
法人税、住民税及び事業税	798	740
法人税等調整額	30	△50
法人税等合計	829	690
四半期純利益	2,122	1,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,122	1,792

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	2,122	1,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	△120
為替換算調整勘定	△0	124
退職給付に係る調整額	15	21
その他の包括利益合計	△37	26
四半期包括利益	2,084	1,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,084	1,819
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった(株)泰秀及びS&B FOODS SINGAPORE PTE. LTD. につきまして、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	26,503	3,476	29,979	—	29,979
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	26,503	3,476	29,979	—	29,979
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	26,503	3,476	29,979	—	29,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,503	3,476	29,979	—	29,979
セグメント利益	2,673	257	2,930	10	2,941

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	27,074	3,542	30,616	—	30,616
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	27,074	3,542	30,616	—	30,616
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,074	3,542	30,616	—	30,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,074	3,542	30,616	—	30,616
セグメント利益	1,990	260	2,250	10	2,261

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第1四半期 (累計)	当第1四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	26,503	27,074	570	
スパイス&ハーブ	7,806	7,840	33	業務用香辛料 (増加)
即席	7,975	8,487	511	即席カレー (増加)
香辛調味料	11,446	10,909	△537	チューブ製品 (減少)
インスタント食品その他	6,927	7,476	548	レトルト製品 (増加)
売上控除	△7,653	△7,639	14	
調理済食品	3,476	3,542	65	調理麺等 (増加)
計	29,979	30,616	636	